

## 「野生生物と社会」投稿者用チェックシート

このチェックシートは、「野生生物と社会」の査読、校正、編集を円滑に行うためのものです。投稿者は以下の項目にしたがっているかチェックし、必ず投稿原稿と一緒に提出してください。

「野生生物と社会」編集委員会

投稿者氏名 \_\_\_\_\_

### 1. 投稿に際しての基本的事項

- 投稿者は学会員である（共著者に非会員を含むことができる）
- 著者が過去に公表した論文とは異なるものである
- 論文内容は、所属機関のガイドライン等を遵守している
- 送付表に記入し、原稿に添付した
- このチェックシートに記入し、原稿に添付した

### 2. 原稿の構成

- 1 ページ目に表題、著者名、著者所属、所在地、連絡先 E メールアドレスだけを書いた
- 2 ページ目に英文で、表題、著者名、著者所属、所在地、連絡先 E メールアドレスだけを書いた
- 3 ページ目に英文要約（Abstract）と英文キーワード（5 つ以内、アルファベット順）を書いた。要約のなかに略号や頭文字語（Acronym）を用いていない
- 4 ページ目以降から、本文、注、引用文献、表、図の説明、図の順に書いた
- 原稿の各ページ下部中央に、第 1 ページから最終ページまで連続したページ番号をつけた
- 原稿の左側に 5 行毎に第 1 ページから連続した行番号を入れた

### 3. 記述上の注意

- 句読点は「、」と「。」ではなく、「,」と「.」を用いた
- 材料、方法、調査地、結果、考察などを区分けする小見出しに下に波線を引き、上下の 1 行を空けて中央に配置した。さらに細分する小見出しは上の 1 行を空けて、下に波線を引き左寄せとした
- 民俗学・民族学などの分野で地方名（vernacular name）や特殊な生物名を表記する場合を除いて動植物名は初出の際に、和名に続けて括弧内に学名をつけて、学名に下線を引いた
- 民俗学・民族学などの分野で尺貫法などの表現を必要とする場合を除いて単位はメートル法によった

#### 4. 文献および Web の引用

- 文中での文献引用は「鈴木・田中（1971）によれば・・・」、「・・・明らかにした（足立ほか 1980）」、「・・・研究がある（Hoffman and Taber 1960, Geist 1970, Gray et al. 1975）」などとし、出版年の順に並べ、著者が 3 名以上の場合は「ほか」または「et al.」とした
- 引用文献リストには本文中で引用した文献のみを記載し、すべて記した
- 引用文献リストでは本文中で「ほか」などと省略した著者名もすべて記した
- 引用文献リストの配列は著者名のアルファベット順とし、第 1 著者が同じ場合は単独の著者名を発表年の古い順にはじめに置き、第 2、第 3 著者名のアルファベット順で続けた
- 引用文献リストの配列はすべて同一著者の場合には発表年順に置き、著者も発表年も同じ場合は、本文中の引用順に、発表年のあとに小文字のアルファベットをつけて区別した
- 引用文献リストに同一著者名の文献を 2 編以上続けて列記するときは、2 編目以降も「一」で省略せず、綴りを略さずに繰り返して書いた
- 引用文献リスト中の「学会誌」、「単行本」、「本の章」は和文、英文とも投稿規定中の形式を参考にした
- Web サイトからの引用は、Web サイト以外に情報源がなく、著者・発表年が明らかな場合に限り引用文献とし、URL と確認の日付を明記した
- それ以外の発表年が明らかなでない情報（Web サイトのみに掲載された情報、行政のパンフレット等）は、注に記載した

#### 5. 図表

- 表は 1 ページ内に印刷できる大きさを考慮し、横線のみで記載し、表題もあわせて 1 点ずつ 1 枚に記載した
- 図表の説明は「図（表） 1. …」または「Fig. (Table) 1. …」のようにし、表では上に、図では別にかき、1 点のみでも図表番号をつけた
- 印刷体での投稿の場合、図（写真を含む）はそのまま版下として使えるように鮮明な状態に仕上げ、1 点ずつ別紙に作成し、写真は光沢平滑印画紙に焼きつけ、裏に著者名と番号を記した
- 既往の図を転載する場合、関係機関から許可を得たうえで、出典を「Harper (1975) より作図」などと明示した